

明治の文明開化の面影から、大正期の建築物も。歩きながら、歴史の香りが漂う。



三条通りは、近世・近代を通じて京都のメインストリートであった。とくに寺町通りと室町通りの間には、京都の近代化を象徴する旧日本銀行京都支店や中京郵便局等の赤レンガ・石造の近代西洋建築物および伝統様式の商家が集積しており、明治の文明開化の面影を今に伝えている。

京都市では、このような景観を保全するため、本地区を「三条通り歴史的界わい景観地区」に指定し、景観上重要な建築物の修理・修景に係わる経費

の一部について補助を行っている。また、新規の建築行為については、連続立面図等を掲載した景観パンフレットを提供し、当界わいの景観特性と調和したデザインとなるよう支援を行っている。



データボード⑧

- ① 京都府京都市中京区
- ② 京都市役所 ☎075-22-3474
- ③ 三条通り（寺町通り～室町通り間）延長800m
- ⑤ 京都美観風致賞受賞作品パネル展、明治の文明開化展（予定）